

# 美里第二公園樹木ガイド



**コブシ(園芸種)** (モクレン科) 3月26日  
拳のような実がつき、裂けると赤い種が白い糸でぶら下がる。



4月26日  
**ハナミズキ(アメリカヤマボウシ)** (ミズキ科) 10月14日  
花は4月。花びらに見えるのは総苞片。花は中心部。



7月14日  
**ヤエウチナシ** (アカネ科)  
花は初夏。良い香りがする。八重咲きは、やせた実がつくが、種はできない。



12月8日  
**ヤツデ** (ウコギ科)  
葉の形から八つ手。テングノハウチワとも言われる。



11月12日  
**シラカシ** (ブナ科)  
材が白いのでシラカシ。公園や生垣でよく見られる。



10月14日  
**シャリンバイ** (バラ科)  
枝や葉が車輪状につく。花が梅に似る。大気汚染に強い。大島紬の褐色の染料。



12月8日  
**アラカシ** (ブナ科)  
県内で最も普通のカシ。西日本で「カシ」といえばこれをさす。



8月19日  
**ナツメ** (クロウメモドキ科)  
初夏に芽を出すので夏芽。晩秋に小枝ごと落ちる。実は食用、薬用。



10月16日  
**キンモクセイ** (モクセイ科)  
中国原産。日本には雄株のみで実はない。花は秋。香りが強い。



11月10日  
**クスノキ** (クスノキ科)  
巨木になり、宮島の鳥居はこれ。樟脳の匂いがする。葉にダニ部屋がある。



12月7日  
**スダジイ** (ブナ科)  
花は6月頃。強く匂って虫を誘う。ドングリは生でも食べられる。



11月11日  
**サザンカ(園芸種)** (ツバキ科)  
花は10~1月頃に咲く。花びらがバラバラに散る。



10月13日  
**クヌギ** (ブナ科)  
炭やシイタケのほだ木にする。カブトムシなどが樹液を吸いによく来る。



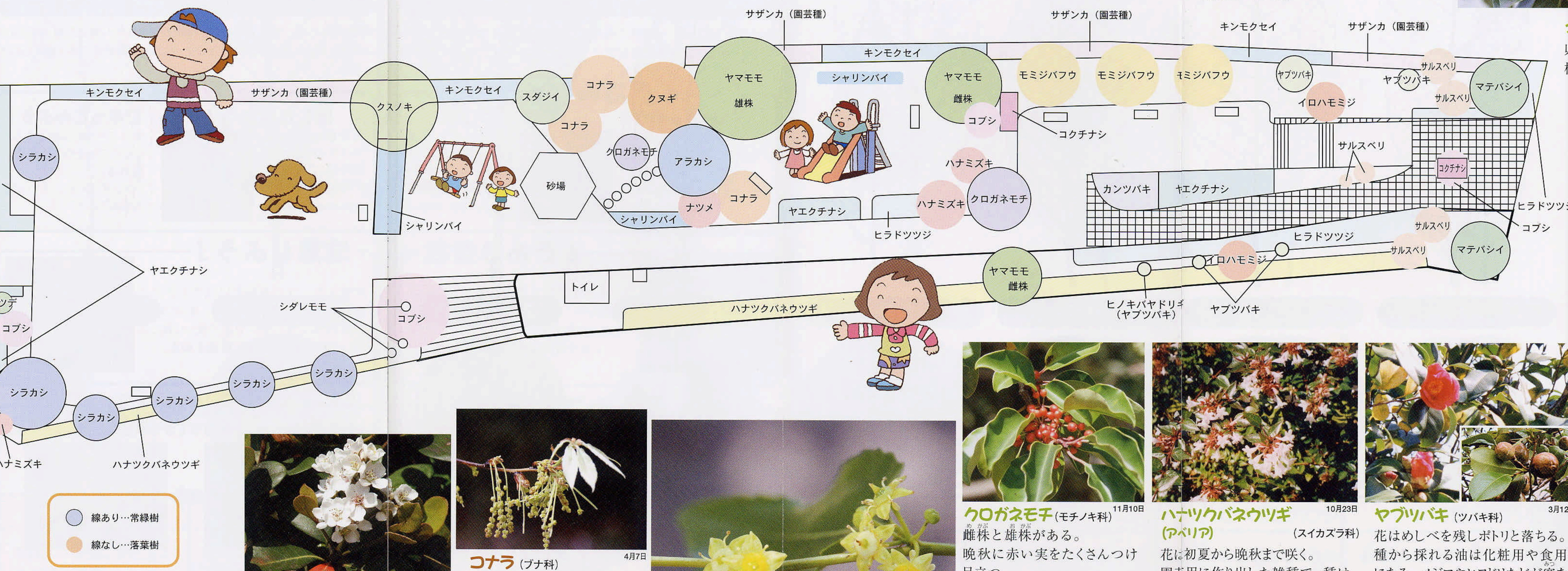
12月8日  
**モミジバフウ(アメリカツウ)** (マンサク科) 11月10日  
紅葉がきれい。イガグリ状の実が垂れ下がる。広島市の街路樹で一番多く植えられている。



6月9日  
**マテバシイ** (ブナ科)  
県内に自生はない。公園などによく植えらる。ドングリは食べられる。



9月14日  
**サルスベリ** (ミソハギ科)  
中国原産。木肌がつるつる。花が長い間咲くので「百日紅」の名もある。



12月16日  
**イロハモミジ** (カエデ科)  
葉は7つに裂け、「いろはにほへと」と数えて名がついた。葉は向かい合ってつき、実はプロペラ状で風に飛ばされる。広島県の木。広島県の花。



4月14日  
**ヤブツバキ** (ツバキ科)  
花はめしべを残しボトリと落ちる。種から採れる油は化粧用や食用になる。メジロやヒヨドリなどが蜜を吸う。(鳥媒花)



11月10日  
**クロガネモチ** (モチノキ科)  
雌株と雄株がある。晩秋に赤い実をたくさんつけ目立つ。



10月23日  
**ハナツクバネウツギ** (アベリア) (スイカズラ科)  
花は初夏から晩秋まで咲く。園芸用に作り出した雑種で、種はできない。株分け、挿し木で増やす。



3月12日  
**ヤブツバキ** (ツバキ科)  
花はめしべを残しボトリと落ちる。種から採れる油は化粧用や食用になる。メジロやヒヨドリなどが蜜を吸う。(鳥媒花)



11月10日  
**ヤマモモ** (ヤマモモ科)  
雌株と雄株がある。実は6月頃に熟し食べられる。